****
★☆★☆★ メルマガ 素形材（第３８６号）★☆★☆★【発行日：2022 年 10 月 21 日】
****

◆◇　本号の目次　◇◆

Ａ．素形材センター事業トピックス【☆●●●】
Ａ-1．オンライン素形材技術研修講座「鋳型の生産技術」のご案内　締切迫る！！
Ａ-2．オンライン素形材技術研修講座「鋳鉄の鋳造方案技術」のご案内
Ａ-3．オンライン新素形材産業動向研究会
「資源高における脱炭素への移行 」のご案内
Ａ-4．オンライン素形材技術セミナー
「金属プレス加工のデジタルトランスフォーメーション(DX)
～　まず、デジタル化からスモールスタートしよう！　～」のご案内
Ａ-5．月刊誌「素形材」2023 年 1 月号特集「わが社の素形材技術最前線」の
掲載原稿募集のご案内　“締切を延長しました！”
--- 掲載は無料です ---　【応募締切：１１月２１日】

Ｂ．素形材センター出版物情報【●☆●●】
Ｂ-1．月刊誌「素形材」令和 4 年 10 月号（Vol.63,No.10）　New★
Ｂ-2.「新版 鋳鋼の生産技術」（令和 4 年 7 月発行）

Ｃ．素形材業界関連－募集・トピックス－【●●☆●】
Ｃ-1．「関西発のイノベーション創出フォーラム」　New★
—2022 年度第 2 回フォーラムのご案内—（11/10 開催）
【一般社団法人大阪科学技術センター】
Ｃ-2.第 109 回金属プレス加工技術研究会　どうなる・どうするこれからの自動車
「次世代自動車の展望とそれを実現するための最新技術の紹介」
【一般社団法人日本金属プレス工業協会】
Ｃ-3．「難削材とその加工技術 - 加工の基礎から知能化まで」
【公益社団法人精密工学会】【公益財団法人 精密測定技術振興財団】
Ｃ-4．第 427 回講習会「表面を知的に考える - 精密工学的テクスチャリング考」
【公益社団法人精密工学会】
Ｃ-5．オンライン教育講座「金属製錬の熱力学」開催のご案内
【公益社団法人日本金属学会】
Ｃ-6．2022 年度　第 3 回熱処理技術セミナー －熱処理基礎講座 II－
【一般社団法人日本熱処理技術協会】
Ｃ-7．クボタ若手研究者研究奨励制度の公募について　【株式会社クボタ】
Ｃ-8.第 176 回塑性加工学講座「板材成形の基礎と応用 ～基礎編～」
【一般社団法人日本塑性加工学会】
【一般社団法人東京都金属プレス工業会】

Ｄ．素形材産業政策関連－トピックス・募集等－【●●●☆】
Ｄ-1.「中小素形材企業のための DX 推進セミナー」　【経産省中部経済産業局】New★
Ｄ-2.統計　【経産省】New★
Ｄ-3．11 月は「下請取引適正化推進月間」です！　【経産省】New★

※※※

Ａ．素形材センター事業トピックス【☆●●●】

∞∞∞

・ねずみ鋳鉄の中･小物鋳造方案　　(株)ＩＪＴＴ　古里憲明　氏

12 月 6 日(火)
・大物鋳物の鋳造方案　　(株)木村鋳造所　菅野利猛　氏
・大物鋳物の鋳造欠陥と方案　　(株)木村鋳造所　菅野利猛　氏
・特殊鋳造法の特徴と方案　　栗熊技術事務所　栗熊　勉　氏

12 月 13 日(火)
・球状黒鉛鋳鉄の中･小物鋳造方案　　(有)張技術事務所　張　　博　氏
・コンピュータを利用した鋳造方案　　クオリカ(株)　木下文昭　氏

■詳しい内容やお申込みは、こちらをご覧ください。
https://www.sokeizai.or.jp/files/libs/1223/20220929151101358.pdf

【問合せ先】
一般財団法人 素形材センター 企画部
e-mail:kensyu@sokeizai.or.jp
∞∞

Ａ-3. オンライン新素形材産業動向研究会
「資源高における脱炭素への移行」のご案内

当センターでは、賛助会員の皆様に、情報提供と意見交換の場として「新素形材産業動向研究会」を立ち上げております。今年度第 3 回研究会を、下記の通り開催します。ご希望の方は、10/26（水）までに、会社名・参加者氏名・TEL・メールアドレスを記入の上、下記アドレスまで、お申込み下さい。

【開催概要】
◆日　時：　令和 4 年 10 月 27 日(木)　10:30～12:00
◆場　所：　WEB（オンライン形式）による開催
◆テーマ：　「資源高における脱炭素への移行」
◆講　師：　ジェトロ　海外調査部　国際経済課 課長代理　古川　祐 氏

【お申込み・問合せ先】
一般財団法人 素形材センター 企画部　　研究会事務局　（担当：中野、佐藤）
e-mail: kikaku@sokeizai.or.jp
∞∞

Ａ-4. オンライン素形材技術セミナー
「金属プレス加工のデジタルトランスフォーメーション(DX)
～　まず、デジタル化からスモールスタートしよう！　～」のご案内

デジタル技術の急速な進展にともない、従来の産業構造がダイナミックに変わろうとしています。このような中で我が国の製造業が生き残りを図るには、デジタル技術を積極的に活用して自らの競争力を高め、市場における優位性を確立することが求められます。この変革への仕組み創りの一つが DX です。中小プレス企業といえども、この DX への挑戦は避けては通れない状況にあります。本技術セミナーは、中小プレス企業をはじめ製造業に関わる経営者・責任者の方々にデジタル化と DX の必要性・重要性を認識していただくことを目的とし、すでに先進的に取り組んでいる企業のデジタル

化の進捗状況を参考として紹介します。この講演を基にして中小プレス工場の DX 実現への筋道を探ります。多数のご参加をお待ちしています。

●日　時　　令和 4 年 11 月 30 日(水)　　13：00～16：50
　　オンラインセミナー（Cisco Webex Meetings を使用）

●プログラム
コーディネーター　元湘南工科大学　片岡　征二　氏
１．基調講演：「DX の必要性」と「アンケートに見る実際との解離」
　元湘南工科大学　片岡征二　氏
２．プレス企業におけるデジタル技術の導入事例紹介
　①“金型見守りシステム”から製造現場 DX 活動へ
　日進精機(株)　加藤忠郎　氏
　② IoTGO の導入と今後
　久野金属工業(株)　久野忠博　氏
　③ ダイセットの DX によるスマートな生産環境の実現
　(株)ヤマナカゴーキン　金　秀英　氏
　④ サーボプレスを活用したデジタル化事例
　(株)放電精密加工研究所　稲田篤盛　氏
３．プレス業界のデジタル化から DX 化へ進展するための戦略
　東京都立大学　楊　　明　氏

■詳しい内容やお申込みは、こちらをご覧ください。
https://www.sokeizai.or.jp/files/libs/1225/20220929154133605.pdf

【問合せ先】
一般財団法人 素形材センター 企画部
e-mail:kensyu@sokeizai.or.jp
∞∞

Ａ-6. 月刊誌「素形材」2023 年 1 月号特集「わが社の素形材技術最前線」の
　掲載原稿募集のご案内　“締切を延長しました！”
　--- 掲載は無料です ---　【応募締切：１１月２１日】

本特集では、自社で開発（他機関との共同も含む）あるいは実用化された素形材技術や素形材製品をご紹介いただけます。貴技術や製品を需要業界および素形材関連業界、さらには広範囲な研究者・技術者に広く知っていただき、連携を図り、貴社事業の強化・拡大に繋がるきっかけになればと考えております。
素形材企業の皆様にご応募いただきやすく締切を延長しましたので、是非、この機会に貴社自慢の技術・設備をご紹介いただいては如何でしょうか。
皆様のご応募をお待ちしております。

◆掲載の仕様は１テーマ・１ページ（図表、写真含む）で、
１社３テーマまで掲載できます。
【応募締切】
令和４年１１月２１日
【応募方法】
応募方法の詳細・応募用紙などは、下記をご覧ください。

https://www.sokeizai.or.jp/pages/30/detail=1/b_id=482/r_id=200#block482-200
【お問合せ・原稿提出先】
一般財団法人素形材センター 業務部　E-mail：gyoumu@sokeizai.or.jp

◆また本特集の掲載を経由して、次年度の素形材産業技術賞へのご応募も可能です。素形材センターが応募書類の作成をお手伝いします。

※※※

ともご購入の検討をお願いします。

【目次】
第１章　　総論
第２章　　炭素鋼鋳鋼の材質特性
第３章　　低合金鋼鋳鋼の材質特性
第４章　　溶解、精錬
第５章　　鋳造方案および鋳型
第６章　　型ばらし・鋳仕上げ・溶接補修
第７章　　熱処理（炭素鋼鋳鋼・低合金鋼鋳鋼）
第８章　　高合金鋼鋳鋼品の特性と製造法
第９章　　試験,検査,鋳造欠陥対策および品質管理
第10章　　鋳鋼生産の省力化、自動化およびデジタル技術の活用
第11章　　作業環境、地球環境対策

【サイズ】 A4判　276頁
【価　格】 本体価格　5,000円　（消費税込み5,500円）
※賛助会員（特別賛助会員・一般賛助会員）は50%割引、
協賛会員は10%割引で、ご購入頂けます。
【申込み・問合せ先】
一般財団法人　素形材センター　企画部
E-mail：kensyu@sokeizai.or.jp

※※※

アーカイラス株式会社
5. 「感染防止・ケア品質向上のためのミリ波レーダ生体情報センシング技術による遠隔モニタリング」
株式会社マリ
6. 「国内最強！高速・高精度のエッジ画像認識技術ラインナップ：tiwaki AI++」
株式会社ｔｉｗａｋｉ

◆日　時：2022 年 11 月 10 日(木)
◆会　場：完全オンライン開催。参加申し込みの方に、別途、詳細ご案内
（オンライン接続先など参加方法）を事前にご案内いたします。
◆定　員：60 名
◆参加費：～フォーラムへの参加方法は 2 種類あります～
1. 各回ごとの参加：参加費：：￥16,500／人(税込)
（OSTEC 非賛助会員は、￥22,000／人(税込)）
2. 年間会員による参加：年会費：￥77,000／社(税込)
（OSTEC 非賛助会員は、￥110,000／社(税込)）

■詳細・申込方法：下記 URL をご覧下さい。
（開催案内） https://uploads.strikinglycdn.com/files/51dc4267-f8f9-45d6-abe5-0cddb8c6a7e7/%E7%AC%AC2%E5%9B%9E%E6%A1%88%E5%86%85220930-2.pdf?id=3942500
（参加申込み） https://kansai-forum.ostec.or.jp/4

【問合せ先】
一般財団法人大阪科学技術センター 技術振興部 山口・松本
TEL: 06-6443-5320　　FAX:06-6443-5319
E-mail: yamaguchi@ostec.or.jp
∞∞

C-2. 第 109 回金属プレス加工技術研究会　どうなる・どうするこれからの自動車
「次世代自動車の展望とそれを実現するための最新技術の紹介」
【一般社団法人日本金属プレス工業協会】

カーボンニュートラルの達成を目指して、自動車に関わるものづくりが大きく変わろうとしています。
この変革の中、どのような製品や技術が生き残れるのか。ものづくりに関わる各社は暗中模索の状況です。その中で、今後の進むべき道を考える一助として、本研究会では、次世代の自動車技術の展望から、ものづくりに関しての要素技術について、専門分野の講師に最新情報を解説していただきます。
是非本セミナーへの参加をお待ち申し上げます。

◆日　時：2022 年 11 月 1 日（火）10:00～17:00
◆会　場：対面講演　機械振興会館 6 階 67 号室
オンライン講演（zoom）のハイブリッド方式（予定）
◆定　員：50 名(対面参加：20 名＋ハイブリッド参加：30 名)
◆参加費：当協会会員、および協賛団体会員 5,000 円、一般 10,000 円
◆申込締切：2022 年 10 月 26 日（水）

◆申込方法・詳細：下記 URL をご覧下さい。
http://www.nikkin.or.jp/news/202209_109.html
∞∞

C-3. 「難削材とその加工技術 - 加工の基礎から知能化まで」
【公益社団法人精密工学会】【公益財団法人 精密測定技術振興財団】

難削材は優れた特性を持つ材料であることが多く、難削材を自由にかつ高精度に加工できる技術の需要は今後ますます高まっていくことが予想されます。本講習会では、航空機エンジン材料から複合材や形状記憶合金、セラミックス等の硬脆材料まで幅広い難削材を対象として材料の特性やその加工技術を紹介します。また、難削材の加工の基礎から先端の研究事例、センサを用いた工作機械の知能化技術まで、加工に関する幅広い情報を提供いたします。多くの方々のご参加をお待ちしております。

◆日　時：2022 年 12 月 13 日(火)～27 日(火)
◆会　場：Box というクラウドサービスを用いてオンライン開催いたします。
◆定　員：制限なし
◆参加費：会員（賛助会員および協賛団体会員を含む）17,000 円
学生会員 2,000 円，非会員 31,000 円，学生非会員 7,000 円
◆申込締切：2022 年 12 月 21 日(水)
◆申込方法・詳細：下記 URL をご覧下さい。
https://www.jspe.or.jp/wp/wp-content/uploads/course/426.pdf
∞∞

C-4. 第 427 回講習会「表面を知的に考える - 精密工学的テクスチャリング考」
【公益社団法人精密工学会】

「トライボロジー」をご存じですか？ 一般に耳慣れないこの言葉は相互作用を及ぼしあう表面に関連した問題を扱う学問です。工学の様々な場面で顔を覗かせますが、得体の知れないものと考える技術者も多いのではないでしょうか。表面の微細な構造を適切に創成し、これをうまく利用することで生まれる恩恵はトライボロジー研究の分かりやすい成果の一つと言えます。本講習会では、表面テクスチャリングに焦点をあて、その創成技術だけでなく利点や応用例についても、この分野の研究・開発に広く携わって来られた講師をお招きして解説頂きます。皆様には、加工技術／応用に偏ることなく得られる多くの知見を、今後の研究・開発にお役立て頂けると考えております。

◆日　時：2022 年 12 月 6 日(火)～22 日(木)
◆会　場：Box というクラウドサービスを用いてオンライン開催いたします。
◆定　員：制限なし
◆参加費：会員（賛助会員および協賛団体会員を含む）22,000 円
学生会員 2,000 円，非会員 36,000 円，学生非会員 7,000 円
◆申込締切：2022 年 12 月 15 日(木)
◆申込方法・詳細：下記 URL をご覧下さい。
https://www.jspe.or.jp/wp/wp-content/uploads/course/427.pdf
∞∞

C-5. オンライン教育講座「金属製錬の熱力学」開催のご案内
【公益社団法人日本金属学会】

金属製錬は、鉱石から酸素や硫黄、不純物を除去して目的の金属を得る技術として、現代社会の構築に大きく貢献してきました。資源の枯渇や地球温暖化が進み、低品位鉱石や都市鉱山の活用が求められ、カーボンニュートラルに向けて様々な取り組みがなされる中、その重要性はさらに高まっています。

本講義では、高温反応での乾式製錬に焦点をあて、その原理となる化学熱力学における化学ポテンシャル、相平衡、状態図などの基礎概念や法則について解説します。さらに、不純物除去のためのスラグ-金属-気体間平衡反応など製錬プロセス解析への化学熱力学の活用について解説します。これらは同様に化学熱力学を活用する湿式製錬や電解精錬を学ぶ上での基礎にもなります。

◆期　日：2022 年 11 月 17 日(木)、18 日(金)
◆会　場：オンライン(Zoom)
◆申込締切：2022 年 11 月 8 日(火)
■申込方法・詳細：下記 URL をご覧下さい。
https://jim.or.jp/EVENTS/lecture/group_004.html

∞∞

C-6. 2022 年度　第 3 回熱処理技術セミナー －熱処理基礎講座 II－
【一般社団法人日本熱処理技術協会】

第 3 回熱処理技術セミナーは，浸炭・窒化・高周波といった代表的な表面硬化熱処理技術を中心に，これらの熱処理とは不可分な金属学的現象への解説を加えて，熱処理技術を中心に据えた基礎講座プログラムと致しました。
本セミナーは，新入社員教育などを始めとした企業における人材育成にも最適なプログラムになっております。貴社の社員教育にご活用いただければ幸甚に存じます。多数の参加を期待しております。

◆日　時：2022 年 11 月 7 日(月)，8 日(火)
◆会　場：オンライン参加（Zoom Webinar），対面参加（製粉会館 5F 第 2・3 会議室）
◆定　員：オンライン参加 80 名，対面参加 20 名（定員になり次第締切ります。）
◆参加費：正会員 36,000 円（税込），維持会員 36,000 円（税込）
　　非会員 56,000 円（税込）
◆申込締切：2022 年 10 月 26 日(水)
◆申込方法・詳細：下記 URL よりご覧下さい。
https://jsht.or.jp/%ef%bc%92%ef%bc%90%ef%bc%92%ef%bc%92%e5%b9%b4%e5%ba%a6%e3%80%80%e7%ac%ac%ef%bc%93%e5%9b%9e%e7%86%b1%e5%87%a6%e7%90%86%e6%8a%80%e8%a1%93%e3%82%bb%e3%83%9f%e3%83%8a%e3%83%bc%ef%bc%88%e3%83%8f%e3%82%a4/

∞∞

C-7. クボタ若手研究者研究奨励制度の公募について　【株式会社クボタ】

株式会社クボタでは、創業１３０周年記念事業の一環として研究奨励ならびに産学連携を目的に、大学や研究機関の若手研究者を対象とした研究奨励制度を一昨年度に創設しました。

本年度も、金属材料の各種研究に携わる大学及び研究機関の准教授、講師、助教、研究者等を対象に最大３名、各１００万円の研究奨励金が出されます。現在、金属材料に関する研究テーマにつき募集中で、締め切りは１０月２８日（金）までとなっております。

■応募規定など詳しい内容は以下をご覧ください。
https://www.kubota.co.jp/news/2022/others-20220901.html　←応募規定
https://www.kubota.co.jp/product/materials/index.html　←ご参考

∞∞

C-8. 第176回塑性加工学講座「板材成形の基礎と応用 ～基礎編～」

【一般社団法人日本塑性加工学会】
【一般社団法人東京都金属プレス工業会】

高品質の板材プレス製品を高能率で生産するためには、板材のプレス成形に関する基礎理論からその応用技術に至るまでの広範囲の知識が必要になります。本講座は板材のプレス成形に関する業務に携わって間もない方や、理論を学び直したい方、塑性加工の研究室で勉強されている大学院生を対象に、板材成形に関する基礎理論と各要素技術を分かりやすく講義します。またテキストは演習問題事例が掲載されていて、講義の後、聴講者が復習できるよう工夫されています。

なお本講座で基礎を学びたい方、実業務に従事しその応用事例を学びたい方のそれぞれのニーズに対応するため、基礎編、応用編に分け、それぞれ2日間の講義をおこないます。応用編は11月24, 25日に開催予定です。

◆日　時：2022年10月31日(月)～11月1日(火)　9:30～16:00
◆会　場：金属プレス会館6階 大会議室（http://www.tmsa.or.jp/access.html）
◆定　員：50名（定員になり次第締切ります）
◆申込締切：2022年10月21日(金)
◆申込方法・詳細：下記URLをご覧下さい。
https://www2.jstp.jp/event/event.php?mode=detail&id=1289

※※※

■日　時：令和４年１１月１５日（火）１３：３０～１５：３０
■方　法：WEB 形式（Microsoft Teams）
■定　員：８０名
■参加費：無料
■プログラム：
（１）中小素形材企業による IoT を活用した実例紹介
　１．生産性向上から人財育成・意識改革につながる製造現場での IoT 活用の実例とポイント
　　株式会社オーテック　小川　大佑　氏（取締役　統括部長）
　２．身の丈 IoT によるカイゼンでダイバーシティから SDGs へイノベーション
　　東和組立株式会社　林　佳寿彦　氏（取締役社長）
　３．IoT、RPA を活用した〝思い〟から始まるカイゼン活動
　　ミズタニバルブ工業株式会社　水谷　真也　氏（代表取締役社長）
（２）サイバーセキュリティ対策について
　　独立行政法人情報処理推進機構（IPA）登録セキュリティプレゼンター
（３）施策紹介（中部経済産業局から）

■申込期限：令和４年１１月８日（火）
〇詳しくはこちら
https://www.chubu.meti.go.jp/c31seizo/kigyohenkaku/221115/index.html

＜問い合わせ先＞
中部経済産業局　産業部　製造産業課　伊藤・井上
TEL：052-951-2724　FAX：052-951-0977
メールアドレス：chb-seizo@meti.go.jp
∞∞

D-2. 統計　　【経産省】New★

〇経済産業省生産動態統計時系列表（６１ヶ月）
https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/seidou/result/ichiran/08_seidou.html#menu2

〇製造工業生産能力・稼働率指数（８月分）
https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html

〇経済産業省生産動態統計確報（８月分）
https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/seidou/result/ichiran/08_seidou.html

〇鉄鋼需給動態統計調査（８月分）
https://www.meti.go.jp/statistics/sei/tekkouzyu/index.html

〇鉄鋼生産内訳月報（８月分）
https://www.meti.go.jp/statistics/sei/tekkousei/index.html

〇石油統計月報（８月分）
https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sekiyuka/index.html

○鉱工業出荷内訳表、鉱工業総供給表（８月分）
https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/utiwake/result-1.html

∞∞∞